令和6年度 事業報告

地域住民の足として必要不可欠な公共交通機関であるバス輸送を振興するため、輸送の安全性確保のための助成や利用促進等の啓発活動を、奈良県から交付される運輸事業振興助成補助金等を財源として事業を行った。

I 助成事業

1. 停留所上屋等の整備事業に対する助成

利用者がバスを快適に利用できるよう、乗合バス事業者が行う停留所上屋やその他施設等の整備事業に助成を行った。

- ・停留所上屋の修繕改修(11カ所)
- ・停留所標板更新等(6カ所)
- ・行先表示板整備(6枚)
- ・JR奈良駅2番のりばデジタルサイネージによるバス総合案内システム設置

2. バス輸送の安全性の確保に対する助成

地域住民の生活に重要な役割を果たしているバス輸送の安全性を確保し、バス利用者保護に努めるため事故防止対策として次の事業に助成を行った。

(1) 運転者適性診断

- ・一般診断の受診者数 … 385名
- ・初任診断の受診者数 … 144名
- ・適齢診断の受診者数 … 120名

(2) 適性診断活用講座受講者数 … 3名

(3) 運行管理者一般講習受講者数 … 103名(うち出前講習44名・eラーニング1名)

(4) 整備管理者講習受講者数 … 80名

(5) 睡眠時無呼吸症候群(SAS)検査受診者数 … 37名

(6) 脳MRI(磁気共鳴画像)検査受診者数 … 90名

(7) 心臓ドック検査受診者数 … 2名

(8) アルコールチェッカーの配付等 … 29個(他に事務所用機器11台)

(9) ドライブレコーダー導入助成事業(車載器) … 102両

(10) デジタル式運行記録計導入助成事業(事務所用機器) … 3台・(車載器) … 45両

(11) 点呼の動画撮影保存機器導入助成事業 … 7台

(12) 安全運転研修事業 … 30名(クレフィール湖東)

II 広報啓発事業

バス輸送の安全性を確保するため、運輸事業に携わる者の資質及び安全意識の向上に資するための講習等を実施し、また、乗合バス利用客の減少に歯止めを掛けるべく利用促進に向けた振興策の取組み、更には、乗合・貸切事業に共通する安定的な経営の

推進を目指すことが地域社会の発展に重要な課題であると捉え、更なるバスの利用促進を図るため次の事業を行った。

1. 交通安全

- (1) 全国交通安全運動や奈良県交通安全県民運動等の取組みに対し、積極的な啓発活動を実施するとともに、年末年始輸送安全総点検実施要領に準じた確実な交通安全に向けた傘下会員への周知展開を行った。
- (2) 令和6年10月16日(水)開催の事故防止委員会に近畿運輸局自動車技術安全部・自動車監査指導部・奈良運輸支局から講師を招き、「事業用自動車総合安全プラン2025の取組状況」、「運輸安全マネジメント制度」、「行政処分基準の一部改正」についての講義を受け、事故防止及び運輸安全マネジメント等の意識醸成を図った。
- (3) 軽井沢スキーバス事故では、シートベルトを着用していない利用者が多数亡くなられたことから、「走行中はシートベルトを着用してください」のシートベルト啓発ポケットティッシュを作成し、貸切バス乗客へのシートベルトの着用徹底の広報のため会員事業者に配付した。
- (4) バス車内での事故防止のため、乗合バス車内に啓発ポスターを掲示するとともに、走行中の注意喚起が記載されたポケットティッシュを作成し、乗合バス乗客への広報のため会員事業者に配付した。
- (5) 交通安全に向けた広報として、交通安全の標語「みんなでなくそう交通事故」「シートベルトをしめましょう」を表記したデザイン入りの紙コップを作成し、貸切バス乗客への広報のため会員事業者に配付した。
- (6) 自家用バスの適正な使用を求める運動のため、近畿運輸局及び近畿ブロックのバス協会が協働して実施する「違法白バス追放月間」(11月)において、広報ポスター・リーフレットを作成し、市町村及び関係団体に掲示等の依頼をし、自家用バスの適正な使用方を啓発した。
- (7) 会員事業者の貸切バス事業者安全性評価認定制度の認定状況は、新規・更新認定合わせ、3ツ星が6社、2ツ星が2社、1ツ星が9社と計17社が認定を受けている。なお、公益社団法人日本バス協会主催による同制度の説明会については、昨年度に引続き同協会のホームページへの申請案内及び申請書類等の掲載に変更された。

2. バスの利用促進

- (1) 地球温暖化ガスの削減や大気環境の改善は喫緊の課題であり、地球環境を守るための地球温暖化防止の一助として、環境保全に関する意識醸成を図るため、啓発ポスターを作成し、乗合バスの車内に掲示した。
- (2) 9月20日の「バスの日」には、バスへの親しみとバス事業への理解を深めてもらうためポスターを掲示するとともに、「バスのある風景を夢とともに走りつづけます」を表記した除菌ウェットティッシュを作成し、バス乗客への利用促進の広報のため会員事業者に配付した。
- (3) 県内に訪れる旅客の利用利便の向上を図るため、「飛鳥」「斑鳩」「桜井・宇陀」周遊

観光マップ及び奈良県乗合バス路線図のデータ(周遊観光マップについては英語・中国語・韓国語の多言語)を更新し、当協会のホームページに掲載した。また、昨年度日本語データのみ作成した「R169ゆうゆうバス沿線」周遊観光マップを新たに作成し関係自治体等に配付した。

(4) 令和6年8月3日(土)にポリテクセンター奈良(奈良職業能力開発促進センター)で開催された「しごとフェスタ2024」に、参加の会員事業者によるバス車両の展示及びバス車内でのゲーム大会を行うとともに、専用ブースでの各社担当者による就職相談を行った。また、バス協会としてリーフレット及びグッズ等を配付しバス事業のPRを行った。

(5) 求職の方にバスドライバーの仕事を知っていただくため、令和6年8月21日(水)ハローワーク奈良・26日(月)ワローワーク大和高田において「バスドライバー就職セミナー」を開催するとともに、9月2日(月)奈良交通自動車教習所においてセミナー参加者を対象として「バス運転体験会」を開催した。

3. バスマつり

令和6年6月9日(日)に京都市下京区・梅小路公園において開催された「スルッとKANSAIバスマつり」の近畿バス団体協議会ブースに参加し、来場者への地域におけるバスの役割と重要性のアピールのため広報啓発グッズを配付した。

III 表彰事業

乗合バス及び貸切バス関係事業の従業員であって、当該業務に精励し、その勤務成績優秀にして他の模範となる者に対して優良従業員表彰を行っており、令和6年7月26日(金)に表彰式を開催し24名を表彰するとともに、併せて1名に日本バス協会観光バスガイド褒賞状の伝達を行った。また、令和6年12月13日(金)に優良運転者日本バス協会会長表彰伝達式を開催し17名に表彰状の伝達を行った。